

どの学年も大きな行事があり、貴重な経験ができた1学期。充実していた分、とても早く過ぎていったように感じます。期末テストも終え、もう目の前には夏休み・・・
あっという間に過ぎていく中学生生活ですが、頭の片隅には、受験に対する漠然とした不安が少なからずあるのではないのでしょうか？そこで今回は、そんな時期を立派に乗り越えられた先輩方の保護者にアンケートにお答えいただいたので紹介させていただきます。
人それぞれなところもありますが、進んだ高校は違っても親の気持ちは共通点もあり、興味深い結果になっていますので、ぜひ参考にいただければと思います。

- 質問の内容は次の3点
- ①志望校を決めた時期と理由
 - ②オープンハイスクールについて
 - ③家庭で保護者が心がけたことや反省点

市内公立	①時期：3年の夏休み明け 理由：自宅から近く、オープンスクールに行って、自分の得意分野を伸ばし将来の夢にも近づけると思ったから。 ②公立に親子で2校。 ③過ぎてしまえば親が焦っても仕方なかったと思う。ヒステリックに怒ってしまったことが反省点。本人は親の思う以上にストレスを抱えているし、時期が来れば自分で焦ってくるので、小言は控えて体調管理を大切に。
	①時期：3年の1学期 理由：本人が自分の成績で受験できるところを決定。 ②公立は友達と、私立は親子で。 ③自分でコツコツ頑張るタイプなので、勉強に対して口を出さず見守る。健康管理に気を付け、体調の変化を見逃さないように。
	①時期：3年の夏休み 理由：英語が好きだったから。 ②親子で公立1校のみ。 ③本人がヤル気にならないと何を言っても無駄なので高校生活の楽しさを伝えたり、将来の仕事についてのビジョンを持たせるようにした。

市内公立	①時期：3年の2学期 理由：見学会で通いやすさや雰囲気を確認し、本人の意思で。 ②親子で一緒に行ったり、時間をずらしたりして参加。 ③食事には気を遣い、後はいつも通り。
	①時期：3年の夏 理由：卒業生の進路（大学への進学状況）。 ②親子で参加。 ③体調管理。休みの日も生活リズムを崩さないように。
	①時期：3年の2学期後半 理由：希望大学に行く為に、どの高校が良いか考えて選んだ。 ②親子で行ったが、行動は別々で。 ③普段通り接する。親が焦っても仕方がないので本人を尊重。
	①時期：3年の夏 理由：オープンスクールの雰囲気が良く、本人が通いたいと思った。 ②親子で公立4校・私立1校。 ③子どもと向き合い、何度も話し合っ、本人の気持ちを尊重した。
	①時期：3年の最終懇談 理由：担任の先生、塾の先生、本人と話し合い、より確実性の高い所に。 ②親子で3校・本人は他に2校。 ③合格祈願グッズ（お菓子）などを買うなど、気持ちの面で応援。 小学生の時に、技能教科にプラスになる習い事をさせれば良かった
	①時期：3年の最終懇談の数日前 理由：オープンスクールに行き、自分のやりたい事を見付けたから。 ②親子で1校のみ。 ③本人が穏やかで居られるような雰囲気、勉強しやすい環境を作る。 一歩離れて見守りながら、子どもの変化に常に気を配り寄り添う。
	①時期：3年の2学期 理由：大学の事も考えて、本人が決定。 ②公立は友達と、私立は親子で。 ③3年の初めに自分が行きたい所を選べばいいと伝え、その後は、プレッシャーを与えないように、出来るだけ何も言わないようにした。
	①時期：3年の2学期 理由：本人の意思で。 ②公立は友達と、私立は親子で。 ③子どもの性格に合った対応をする。周りの子の話はせず比べない。 本人の話はよく聞くようにし、塾に行かせた以外はそっとしておく。

市内公立	①時期：3年の最終懇談 理由：自分の進みたい道、入学してからのことを考えて。 ②自分の興味のある所はもちろん、友達の希望にも一緒に行って、視野を広げた。志望校は親子で、それ以外は友達と。 ③親が道を作るのではなく、自分自身で決断できるように見守る努力をした。年明けからは体調管理。
	①時期：1年の夏 理由：学力が合っていた。 ②親子で私立2校。 ③健康管理と食事。 反省点は夏休みの学習を塾と本人任せにしたこと。
	①時期：3年になってすぐ決めていたが2学期終わりの懇談で変更 理由：総合学科と普通科で悩み、先輩の話や実際に見た学校の雰囲気で。 ②自分の行きたい高校2校と友達の行きたい2校。 受験しない学校でも得るものはある。 ③普通に過ごす。
	①時期：2年の夏 理由：単位制というのが良かった。 ②1校に2回（2年秋に父親と3年夏に母親と）。 ③勉強のことをうるさく言わないようにしていた。
市外公立	①時期：3年の1学期 理由：自分のレベルに合っていて、オープンスクールで気に入った。 ②第一希望は親子で、それ以外は友達と、全部で5・6校。 ③体調管理と家ではリラックスできるように、あえて普通に接した。
	①時期：3年の夏 理由：自転車で行ける範囲で、単位制・水泳なし等自分に合っていた。 ②公立は親子で2校・友達と1校、私立は親子で2校。 ③親が行かせたい学校を押し付けない。他の子と比べない。
	①時期：3年の夏 理由：オープンスクールで学校の雰囲気が良かった。 ②1校は両親と友達、1校は友達と。 ③健康管理と食事。
	①時期：3年の夏 理由：オープンスクールで本人が気に入った。 ②公立・私立ともに親子で2校ずつ。 ③高校生活の楽しさを伝えて、緊張を和らげることと体調管理。

市外公立	①時期：3年の2学期 理由：気になる分野の授業があり、自転車で通える範囲で、オープンスクールで自分に合っていると思ったから。 ②友達と2校。 ③体調管理。 頻繁に勉強するように言っしまいやる気を削いだのが反省点。
私立	①時期：3年の12月 理由：将来の夢を実現させるため。 ②親子で行ったり、友達で行ったり、全部で6校。 ③子どもの気持ち、将来のことを第一に考える。
	①時期：3年の最終懇談 理由：本人が目標としている大学に行く為に、色々と考えて決める。 ②親子で参加。 ③話をよく聞くようにしそっと見守る。同級生の子と比べない。

ご協力いただいた保護者の皆さん、本当にありがとうございました。

編集の都合上、要約させていただいた部分もありますが、ご理解ください。

最後になりましたが、進路指導の未定先生にもお話をうかがいました。

公立高校の入試制度が大幅に変わって今年で4年目になります。「どう選んで行くか」が難しい反面、「選択肢が増えた」という面もあります。また、大阪府の公立高校の動きの影響もあり、公立・私立高校ともに入試を巡る動向はまだまだ流動的です。

また、国でも、現中学3年生が高校3年生になるころには大学入試制度も変化する動きが見られます。このような中でまず大事なことは、

①それぞれの学校の特色を知ること

オープンスクールなどに参加しましょう（できれば公立なら5校くらいは）。

3年生になってからの参加でも十分です。

②通学路など現実的に考えること

通学費用や通学時間、経路など3年間通うということを想定し現実的に考えましょう。

③自分に合った学校を選ぶこと

学習内容や、やりたいことができる…など、入学してから引き続き頑張れる学校かどうか考えましょう。自分を伸ばしてくれる学校より、自分が伸びる学校を。

④出願に関しては本人、保護者を含め家族全員の意見が一致していること。

公立学校や私立専願で出願し合格した場合、入学拒否ができませんので、本人の希望が家族の総意でもあるようにしましょう。

※また、出願に際して事務手続きなどもご協力いただくことになりますので、よろしくお願いします。何かご相談があれば、いつでも学校に聞いてください。